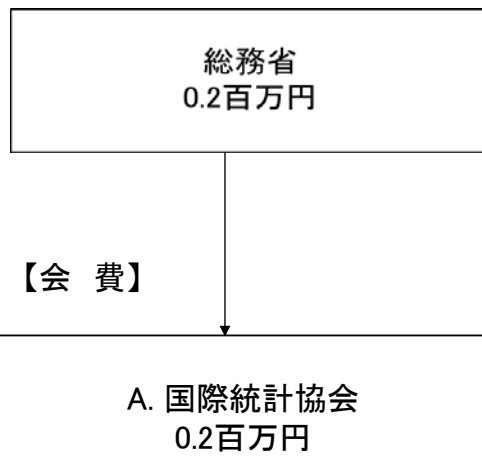


平成25年行政事業レビューシート (総務省)

事業名	国際統計協会分担金		担当部局	総務省政策統括官(統計基準担当)		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	事業開始：明治32年		担当課室	総務省政策統括官(統計基準担当)付 国際統計管理官室		国際統計管理官 高田 聖治		
会計区分	一般会計		政策・施策名	-				
根拠法令(具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第84号		関係する計画、通知等	国際統計協会規約、会費支払い請求通知				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	オランダに本部を置く「国際統計協会」は、国際的な活動と協調の推進を通じて統計手法や技法の開発・改善を目指した国際的な推進機関(非営利団体)である。同協会には、G8のメンバー国をはじめ主要な国の統計部局長が職務会員として加入し、同協会の活動を支援している。政府の公的統計を所管する当省は、同協会が開催する国際統計協会大会に出席し、我が国の統計に関する情報発信を行い、世界の統計水準の向上に寄与するとともに、同大会で最新の統計情報を入手することにより、我が国の統計の体系的整備に貢献するものである。(なお、これまでに3回、我が国においても、国際統計協会大会が開催されている。)							
事業概要(5行程度以内。別添可)	国際統計協会は、各国の分担金により維持されており、国際統計協会の活動を通じて、世界各国の統計技術の開発、改善に寄与している。また、我が国の公的統計制度を所管する当省は、毎回、国際統計協会大会に積極的に参加し、発表等を行っており、我が国の統計に関する情報発信を行うとともに、同大会で最新の統計情報を入手することにより、我が国の統計の体系的整備に貢献している。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計		0.3	0.2	0.2	0.2		
	執行額		0.3	0.2	0.2			
執行率(%)		100	100	100				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	分担金は、国際統計協会の運営のために一律に課せられる会費であり、会費という性格上、定量的な成果目標の設定にはなじまない。		成果実績					
		達成度	%					
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	分担金は、国際統計協会の運営のために一律に課せられる会費であり、会費という性格上、定量的な活動目標の設定にはなじまない。		活動実績(当初見込み)			()	()	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	国際統計協会分担金	0.2	0.3	要求レートの変動による増額				
	計	0.2	0.3					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		-	各国の政府統計の代表が参加しており、日本政府の公的統計制度は本省が所管している。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		-			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	統計手法や技法の開発・改善を国際的な立場で推進する国際統計協会以外に類似の団体は存在せず、会費は、同協会の運営のための経費として課されているものである。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	国際統計協会の会議に参加するために必要な手段である。 また、同協会が実施する会議に出席し、最新の統計情報を交換することは、参加国の統計水準の向上に貢献するものであり、我が国の統計の体系的整備を行う上でも有用なものとなっている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	我が国が各国の統計関係者との交流を深め、また最新の統計情報の入手、我が国の情報発信を図るため、国際統計協会に継続して加入することは必要である。 例えば、前回平成23年にアイルランドで開催された第58回国際統計協会大会には政策統括官室の職員が参加し、我が国の公的統計の新しい枠組みについてプレゼンテーションを行ったところ(タイトル“A New Framework for Development of Japanese Official Statistics”)、参加者の強い関心を集め、我が国の分散型統計システムの下での関係機関の役割等について質疑応答がなされた。また、各国統計局等のプレゼンテーション(例:英国統計局「人口統計の将来」、ノルウェー統計局「行政データの有効性と初期品質の検証」、世界銀行「ICP(国際比較プログラム)における価格調査の枠組みの効率性向上」等)を聴取し、今後の我が国の人口統計や経済統計等の体系的な統計整備を検討する上での参考に資する情報を収集した。 また、平成25年8月25日から香港で開催予定の第59回国際統計協会大会には、総務省統計局、政策統括官室の職員が以下のテーマでプレゼンテーションを行い、我が国の統計調査、統計整備の現況、課題等について説明するとともに、各国、国際機関の関係者と意見交換を行う予定である。(発表予定テーマ) “Business Survey Frame for Coordinated Statistical Production” “The Complementary Estimate of the Great East Japan Earthquake for the Labour Force Survey” “The impact of the great East Japan earthquake on the labour market and industrial production in the disaster-stricken prefectures” “Use of Administrative Records for Producing Official Statistics in Japan”					
	外部有識者の所見					
必要かつ妥当な経費負担である。なお、「最新の統計情報を交換することは、参加国の統計水準の向上に貢献するものであり、我が国の統計の体系的整備を行う上でも有用なものとなっている」という以上、どのような情報交換、どのような国際貢献、体系的整備へのどのような影響があったか記載すべきである。論文発表があるのであれば、新規性、引用件数なども明示すべきである。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	条約等に基づくものであるため。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	条約等に基づくものであるため。 なお、上記「点検結果」欄において、直近の国際統計協会大会における論文発表実績、今回大会における論文発表予定等を記載した。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0001-3	平成23年	0003	平成24年	0003



(国際統計協会事業の運営)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
会費	国際統計協会事業の運営	0.2			
計		0.2	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際統計協会	国際統計協会事業の運営	0.2	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					